

「第12期ちえのわ農学校」

報告と新年度の募集内容です。

みなさまこんにちは。東京学芸大学の学生サークルである「サークルちえのわ」です。大学内にある農園を借りて、通年で「ちえのわ農学校」と題して地域の子もたちと食農文化体験活動を行っています。また、INCHが開催するキャンプにもスタッフとして参加させていただいています。今回はこの場をお借りして「ちえのわ農学校」のご紹介及び来年度(第13期)の参加者の募集をさせていただきたいと思っております。

【ちえのわ農学校とは】

ちえのわ農学校では、次の3つの“わ”を理念として、4月から翌年1月まで毎月1回(全10回)の活動を行っています。

*自然のわ：自然の様々な表情と向き合いながら、「種から胃袋まで」の道のりを実践することを五感で感じるきっかけづくりをする。

*人のわ：農学校だからこそできる体験を通じて子どもたちが仲間とのつながりを感じられるきっかけづくりをする。

*知恵のわ：昔ながらの知恵や文化にふれ、身近なものを見つめなおすきっかけづくりをする。

◎主な活動内容

第12期のちえのわ農学校でも、通年で野菜の栽培やお米作りを行いました。

春にはタケノコを掘り、夏野菜の種を蒔き、田植えもしました。田植えの後には田んぼで泥遊びもしました。

夏には野菜の収穫をしてカレーにして食べたり、竹工作をして水遊びもしたり、流しそうめんもしたり、夜の農園でかくれんぼもしたり、ヤマメを捌いて食べたりもしました。8月農学校は1泊2日でお泊りもしました。

秋からはまた新しく冬野菜を育て始め、お米の収穫から脱穀・精米をし、お米を粉にして料理もしました。ちえのわで育てたサツマイモで焼き芋にして食べたこともありました。

冬には藁でクリスマスやお正月の飾りを作ったり、冬野菜の収穫をしたりしました。寒い中での外遊びもたくさん行いました。

この他にも全力で泥団子を作ったり、葉っぱ遊びをしたり、案山子を作ったり、染め物もしたり等々、子どもたちと農園で四季折々の自然遊びもしました。

◎第12期代表より

第12期のちえのわ農学校を振り返ってみて最初に思ったことは、「毎月天気で悩んでる」ということでした(笑)。ちえのわ農学校は外での活動がメインなので、天気によって活動内容が大きく変わります。そのため田植えなどの活動ができなくなる天気の場合は延期をして別の日に開催するということがあります。今年度は大雨による延期がありました。

また、ちえのわ農学校の前日まで雨が続けていたり、晴れていても風が強かったり、台風が直撃したり等、様々な天気の下で私達はちえのわ農学校を開催しました。悪天候だと思えても、子どもたちと一緒にだと面白いことが見えてきます。「天気が良い」というのは晴れだけではありません。雨でも雪でも台風でも、子どもたちはその時その時を楽しんでいて、ふと「センス・オブ・ワンダー」という言葉を子どもたちから感じました。しかし、実は天気が晴れでも雨でも台風でもワクワクしていたのは、私も同じです。

第12期の活動を通して、子どもたちから「楽しい」、「また来年も参加したい」という言葉をたくさんいただきました。スタッフは畑や田んぼの様子を見るために日々農園に足を運びますが、参加者の子どもが農園に遊びに来たり、自然と親しんでいる様子を見かけたりということがしばしば見られます。ちえのわ農学校が子どもたちに自然の“わ”や人の“わ”を感じるひとつのきっかけや居場所になれたのではないかと思います。

ます。また、保護者の方々にご記入いただいたアンケートには、「毎回帰ってくると農学校であったことを楽しそうに話してくれる」、「今、野菜に興味を持っているようです」、「来年も参加させたいです」等数々の温かい言葉やちえのわ農学校を評価して下さる声に感無量で涙を流すスタッフもいました。私達は学生サークルであり、社会的に見れば未熟ではありますが、それゆえに話し合いや試行錯誤の日々を積み重ねることで、私達はたくさんのことを学ばせていただきました。ちえのわ農学校を支えてくださった皆様、そしてちえのわの子どもたちには心から感謝しています。ありがとうございました！

2016年度代表 大窪青樹(東京学芸大学3年生)



【第13期 ちえのわ農学校 参加者募集要項】

□活動要旨

正式名称：ちえのわ農学校

対象：小学校3年生～中学校3年生までの男女16名前後（抽選有。）

スタッフ：東京学芸大学学生を中心に30名程度

場所：東京学芸大学 環境教育研究センターおよび教材植物園(彩色園)

費用：実費負担15,000円（食費、保険、材料費等）

主催：東京学芸大学サークルちえのわ URL: <http://www.gakugei-chienowa.org/>（準備中）

共催：NPO法人「自然文化誌研究会」 URL: <http://www2.plala.or.jp/npo-inch/>

後援：小金井市教育委員会

□2017年度 年間予定

月1回の土曜日（全10回） 10:00～17:00（4～7月）、10:00～16:00（9～1月）

（日程・内容ともに変更する可能性があります。）

日程	4/22	5/20	6/17	7/15	8/19-20 (宿泊)	9/16	10/14	11/11	12/9	1/20
活動内容	開校式、農園散策、夏野菜種まき	田植え	かかし作り	竹工作	夏野菜料理、ヤマメさばき	冬野菜種まき	稲刈り	脱穀・精米	もちつき、稲わら工作	修了式
夏野菜の栽培						冬野菜の栽培				
田植えから脱穀・精米までの稲作体験 果物の調理・保存 自然を対象にしたあそびなど										

※活動内容で未定の部分もありますが、子どもたちのやりたいことを聞きながら決めていきたいと考えています。また自由時間や季節ごとの農園散策、おやつ作りなどを通して、子どもたちひとりひとりの、ふと持った興味を大切に活動していきます。

□活動中の健康管理・安全管理について

健康管理

参加者の方に予め提出していただく「健康管理カード」により、食物アレルギーや既往症などの把握を行います。また、活動当日の朝にも健康状態を確認します。

安全管理

参加者は行事保険、スタッフはボランティア保険に加入します。活動中、農具の取り扱いなどは事前に指導を行ったうえで、特に注意します。また、緊急の場合に備え、応急処置の方法、近隣の病院やタクシー会社の電話番号を明記したマニュアルを作成しています。

○参加見込みとお問い合わせ

Tel: 080-1117-8872 (佐奈) E-mail: gakugei_chienowa@yahoo.co.jp

※お問い合わせ後、詳しい資料をお送りいたします。資料をご覧の上お申し込みをお願いします。

※お申込みの締め切りは、2017年3月31日必着でよろしくお願い致します。

代表：東京学芸大学教育学部3年 菊池香歩（きくち かほ）

参加希望の方、まずはお問い合わせください！！